

座長・演者へのお知らせ

発表に際しては、患者のプライバシー保護に十分ご留意ください。

I. 座長の皆様へ

1. セッション開始10分前までには次座長席にご着席ください
2. 各セッションの進行は一任いたしますが、終了時刻は厳守してください。
3. セッションの時間が限られているため、一般口演の演者紹介の際には、演題名および所属は省略し、氏名のみお呼びください。

II. 演者の皆様へ

1. 発表時間

会長講演・理事長講演・President's Special International Symposium・JSRA-AAHKS Combined Educational Lecture・JSRA-AAHKS Combined Symposium・シンポジウム・パネルディスカッション・教育研修講演・破邪顕正Debate・学術研究企画プロジェクト最終報告・学会賞受賞講演・破邪顕正セミナー・モーニングセミナー・ランチョンセミナー・インプラントセミナー：事前のご案内の通り

一般口演・English Oral Session・優秀演題賞候補セッション・Best Paper Award Candidate Session・研修医部門優秀演題賞候補セッション：発表5分＋質疑応答3分

※発表時間の終了1分前、および終了をランプでお知らせします。

※口演時間を厳守してください。

2. 発表方法

口演発表はPCによる発表(1面映写)のみとさせていただきます。

発表スライドサイズ：16：9(推奨)

3. 次演者

次演者は、前演者が登壇されましたら次演者席で待機してください。

4. PC受付

- 1) 発表データの登録は、発表60分前(早朝の場合30分前)までにお済ませください。

1日目の朝10：00までは、1日目午前中の演者を優先的に受付いたします。

なお、2日目の演者は1日目にも登録いただけます。

受付場所：大阪国際会議場 5F

リーガロイヤルホテル大阪 2F 桂の間(第11会場)前

受付時間：2月26日(木)7：30～17：40

2月27日(金)7：15～16：30

※第11会場、第12会場にてご発表の演者は、リーガロイヤルホテル大阪のPC受付にてデータのご提出をお願いします。

- 2) 演台上にモニター、キーボード、マウスをご用意しておりますので、操作はご自身でお願いします。

5. 利益相反の開示

- 1) 利益相反の有無にかかわらず、全ての発表者は、発表スライドの1枚目に該当するCOI状態を開示してください。

- 2) 発表者、教育研修講演演者は過去3年における発表内容と関連のある企業とのCOI状態を開示してください。

なお、開示すべき項目と基準については、大会ホームページ「利益相反の開示について」をご確認ください。

- 3) 開示するスライドの様式は次の通りです。様式のテンプレートは、大会ホームページの「利益相反の開示について」よりダウンロードいただけます。

COI開示

発表者名：東京一郎、京都次郎、大阪三郎、◎福岡四郎（◎代表者）

演題発表内容に関連し、筆頭および共同発表者が開示すべきCOI関係にある企業などとして、

①顧問：
②株保有・利益：
③特許使用料：
④講演料：
⑤原稿料：
⑥受託研究・共同研究費：
⑦奨学金附金：
⑧寄附講座所属：
⑨贈答品などの報酬：

(開示例)
発表者全員、過去3年間を一括して
講演料：A製薬、B製薬
原稿料：C製薬
奨学金附金：B製薬、D製薬

↑ 開示すべき内容が過去3年間にあり項目のみ記載

COI開示

発表者名：東京一郎、京都次郎、大阪三郎、◎福岡四郎（◎代表者）

演題発表内容に関連し、発表者らに開示すべきCOI関係にある企業などはありません。

PCを持ち込まれない場合

- ①発表データは、CD-RまたはUSBフラッシュメモリーでご持参ください。MOなどその他のメディアには対応しておりません。また、データは必ず最新のウイルス駆除ソフトでチェックを済ませたものをご持参ください。CD-Rにデータをコピーするときには、ファイナライズ(セッションのクローズ)作業を必ず行ってください。この作業が行われていないと、作成したPC以外ではデータを開くことができませんのでご注意ください。
- ②データは、大会が用意するサーバーに一旦コピーいたしますが、ご発表後は責任を持って消去いたします。

●データ作成上の注意

1. ファイル名は半角文字で、演題番号としてください。
2. 学会が用意するパソコンのOSはWindows です。アプリケーションは、Microsoft 365 PowerPointです。出力解像度はフルHD(1920×1080)です。
3. フォントはWindows 版Microsoft PowerPointに標準装備されたものをご使用ください。推奨フォント以外のフォントを使用すると代替フォントが使用され、レイアウトが崩れることがあります。特殊なフォントをお使いになるときは画像化し、オブジェクトとして貼り付けてください(推奨フォント：MS ゴシック, MSP ゴシック, MS 明朝, MSP 明朝, Arial, Century, Times New Roman)。
4. 動画をPowerPointに埋め込む場合、可能な限りWindows Media Playerで動作する形式をお使いください。動画を使用する場合、リンク切れにご注意ください。これはデータをメディアにコピーした後、作成したPC以外のPCで動作確認する事によりチェックできます。
また、使用動画データもフォルダに一緒に保存してください。動画・アニメーションがある場合はご自身のPCのご持参を推奨いたします。
5. メディアを介したウイルス感染の事例がありますので、最新のウイルスソフトを使用してウイルスチェックを行ってください。

PCを持ち込まれる場合

- ①外部出力に特殊なコネクタが必要な場合、コネクタは演者自身が必ずご持参ください。Macintoshや薄型PC等、一部の機器では出力端子の規格が異なることがあります。会場にはHDMI のモニター出力端子のみ用意いたします。



- ②電源アダプターは必ずご持参ください。また、スクリーンセーバーや省電力機能、パスワード設定等の発表の妨げとなるモードはあらかじめオフに設定してください。
- ③映像出力はミラーリング形式のため、発表者ツールのご使用はできません。
- ④万一に備え、別途USBフラッシュメモリーなどでデータをお持ちになることをお勧めいたします。
- ⑤ PC受付で外部出力および動作確認を行った後、発表20分前までに次演者席付近に設置してあるPCオペレーターデスクまでPCを各自でご持参ください。PC受付ではお預かりいたしません。

III. ポスター発表

1. 座長の皆様へ

- ・セッション開始10分前までには、各ポスター会場にある「ポスター座長受付」にお立ち寄りください。
- ・座長用リボンと指示棒をお受け取りのうえ、担当セッションのポスターパネルの前にお越しください。
- ・各セッションの進行は一任いたしますが、終了時刻は厳守してください。
- ・セッションの時間が限られているため、演者紹介の際には、演題名および所属は省略し、氏名のみお呼びください。

2. 演者の皆様へ

1) 発表時間

発表3分＋質疑応答2分

※口演時間を厳守してください。

2) 発表方法

セッションごとに座長をおき、座長が進行します。

演者はセッション開始時間の10分前までにポスター前にお集まりください。

発表時間は厳守し、討論は座長の指示に従ってください。

3) 貼付・撤去時間

指定の貼付・撤去時間を厳守してください。

貼付時間：2月26日(木)8:00～9:00

閲覧時間：2月26日(木)9:00～17:05

2月27日(金)9:00～16:10

撤去時間：2月27日(金)16:10～17:00

ポスター会場：

ポスター会場①② 大阪国際会議場 3F イベントホール

ポスター会場③④ 大阪国際会議場 10F 1001～1003

3階と10階にポスター受付を設置しておりますので、ご自身の掲示場所が不明な場合はお立ち寄りください。

- 1) 演題番号(20cm x 20cm)は事務局で用意し、あらかじめポスターボードに表示します。
- 2) 本文とは別に、縦20cm x 横70cmに収まるように演題名・所属・氏名を記入したタイトルをご用意ください。
- 3) 本文は縦160cm x 横90cmに収まるようにしてください。
- 4) ポスターの末尾に利益相反(COI)の有無を必ず記載してください。
- 5) 貼り付けには押しピンを利用し、しっかり留めてください。押しピンはポスターボードにご用意いたします。
- 6) 指定の撤去時間以降にボードに掲示されているポスターは、事務局にて処分いたします。



日本人工関節学会誌 論文原稿の受付について

日本人工関節学会誌の発行は年1回とし、学会発表の論文に限り投稿を受け付けします。

発表者は投稿規程に従って作成し、本年5月22日(金)までに下記事務局に提出ください。論文の提出方法は学術集会終了後、学会事務局より投稿用DropBoxを演題登録時に入力されたE-mailアドレスにお送りしますので、DropBoxを使用し投稿をお願いします。

一般社団法人日本人工関節学会事務局

〒100-0003 千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル(株)毎日学術フォーラム内

E-mail : jsra@mynavi.jp

TEL : 03-6267-4550 FAX:03-6267-4555

日本人工関節学会誌投稿規程

1. 本誌の発行は年1回とし、学会発表の論文に限る。論文掲載は本学会の会員資格を要する。
2. 原稿は図表を含み文字数4,000字以内とする。図表は刷り上り時で横8cm×縦6cmの大きさを400字として計算する。本文、文献、図表説明文、図表のすべてを、1つのMS-WORDファイルに貼付し、著者自身がこのMS-WORD一括ファイルを用いて投稿する。
3. 投稿は学会ホームページより電子投稿する。なお、論文の提出は学会終了後から3ヶ月以内とする。
4. 参考文献は、10篇程度の重要なものとどめ、文献の配列は引用順に番号を付け、本文中の引用箇所に肩見出し番号として記載する。文献の記載は下記の例に従う(Journal of Orthopaedic Scienceに準じる)。なお記載する著者数に関して、4名以上の場合は3名まで記載し、あとは「ほか」「et al」と記載する。

＜雑誌＞著者名・表題・誌名・発行年；巻数：頁・

例) 渡辺正毅. 関節鏡の使い方と見方. 関節鏡 1978; 3:73-76. Slocum DB, James SL, Larson RI, et al. Clinical test for anterolateral instability of the knee. Clin Orthop 1976 ; 118 : 63-69.

雑誌略称は、Index Medicusに準じる。Proceedingまたは学会抄録は表題の頁のみ記載する。In pressの文献は、原則として引用しない。

＜単行書＞著者名・表題・編者・書名・版・発行地・発行者(社)・発行年・引用頁。例) Watanabe M, Takada S, Ikeuchi H, et al. Atlas of Arthroscopy. 3rd ed. Tokyo: IgakuShoin; 1978.56-71. 例) 富士川恭輔・膝関節の発生・富士川恭輔編・膝の臨床・初版・東京：メジカルビュー社；1999.2-5.

5. 日本人工関節学会誌に掲載された投稿原稿の著作権は日本人工関節学会に帰属するものとする。
6. 本誌に論文を投稿する際、「日本人工関節学会における事業活動の利益相反に関する指針の細則」に従い、所定の書式(ICMJE 申告フォーム)において著者全員利益相反(COI)の申告を行うこと。論文中のCOI開示は学会ホームページ「資格・基準・申請」→「利益相反」→「日本人工関節学会誌投稿用COI申告規定」に従いReferencesの前に記載する。規定されたCOI状態がない場合は、「利益相反申告なし」の文言を記載する。臨床研究のプライバシーの保護は、ヘルシンキ宣言に沿い、動物実験においては、各施設の規定に沿ったものとする。患者の名前、イニシャル、病院のID番号など、個人の特定が可能な情報を記載してはならない。投稿に際しては、「個人情報保護に関する法律に伴う事務局職員遵守事項(平成17年1月28日)」を遵守する。
7. 重複発表(overlapping publication)

1) 多重投稿(二重投稿も含む)(duplicate submission)

多重投稿とは、同一内容の原稿を、同一言語、複数言語にかかわらず、同時に、複数の雑誌に投稿することである。多重投稿とみなされるのは、「別に投稿中の論文に、今回投稿論文と同じ題材が含まれている場合」などである。基本的に多重投稿は受理しないが、同時掲載することが有益であると判断された場合は、編集者間の合意により、同時に、同内容の投稿を受け付ける場合もある。

2) 多重発表・事前発表(duplicate and prior publication)

多重発表とは、本質的に同じ内容の論文を繰り返し発表することである。多重発表とみなされるのは、「著

者らがこれまで発表した論文の中に、今回投稿論文と同じ題材が含まれている場合」などである。多重発表となる可能性のある原稿を投稿する際には、編集者にその旨を届け出る必要がある（詳細は次項）。

なお、以下の場合には多重発表とはみなさない。

- ・「他学会・研究会で、抄録や記録集（proceedings）の位置づけの学会発表論文として掲載されたものを、まとめて論文として投稿する場合」には多重発表とは判断しない。ただし、論文の終わりに「この論文は第〇回〇〇学会で発表した。」「この論文は〇誌〇巻〇号に学会発表論文として掲載された」などと記載する。
- ・「新たに投稿する論文に使われているデータベースが、他誌に掲載済みの論文より 50 以上増えているもの」、「同じデータを利用していても、全く別の仮説を証明あるいは否定するために、全く別の観点から分析した論文である場合」も本学会誌は多重発表とは判断しないが、一次出版誌の多重発表規定に抵触しないか他誌の編集委員会に確認をとる必要がある。この場合は、同じデータを使用した他誌に掲載済みの論文を参考論文として本学会誌に引用する。

3) 二次出版（secondary publication）

政府機関や学会によって制定されたガイドライン記事のように、複数の雑誌に掲載して、広く知らせたり、異なる読者が想定される論文・翻訳記事のように、ある雑誌に掲載された論文と同じ内容を他誌に重複して掲載したりすることがある acceptable secondary publication。

i) 他誌から本学会誌

著者が日本語以外の言語で発表した論文については、一次出版誌側の投稿規定に沿い、一次出版誌の編集委員会からの許可証を本学会誌に提出すれば、二次出版という形で日本語に翻訳したものを本学会誌に掲載可能である。一次出版の雑誌編集長への連絡、掲載許可などは著者が行い、一次出版誌の論文は、二次出版する本学会の投稿論文の文中に参考文献として記載の上、タイトル、ページ、脚注には以下の文例を使用すること。

「この論文は既に出版された論文である。（題名，雑誌名，発表年，巻号，頁数）」。

なお、原則として本学会誌は、日本語で他和文誌に発表した論文の二次出版は行わない。

ii) 本学会誌から他誌

本学会誌に掲載された日本語論文を、改めて日本語以外の言語に訳して他の雑誌〔本学会のオフィシャル英文誌である Journal of Joint Surgery and Research（JJSR）への投稿は別項参照〕へ投稿する際は、基本的に医学雑誌編集者国際委員会（ICMJE）Recommendations に則り対応する。

- ・事前に著者が投稿する雑誌の編集者および本学会編集委員会の許可を得る。
- ・本学会誌のデータおよび解釈が二次出版誌の内容に忠実に反映している必要があり、両者の内容に齟齬を生じないように留意する。
- ・二次出版誌に Japanese Society for Replacement Arthroplasty（JSRA）の和文誌（日本人工関節学会誌）からの二次出版であることを明記する。必要に応じて、本学会編集委員会が二次出版の許可証を発行する。本学会誌掲載論文の引用方式などは、二次出版誌の規定に準ずる。

なお、原則として本学会誌は、日本語で本学会誌に発表した論文の他和文誌への投稿は許可しない。

iii) 本学会誌から Journal of Joint Surgery and Research（JJSR）

基本的に前項 ii) 本学会誌から他誌への投稿の規定に則るが、本学会の編集委員会に報告し、許可を得られた場合は JJSR の編集委員会への事前の報告・許可なしに投稿可能である。ただし、本学会誌に出版済みであることは明記すること。

附則

この規程の変更は、令和 3 年 5 月 12 日より施行する。

この規程の変更は、令和 5 年 5 月 13 日より施行する。

この規程の変更は、令和 6 年 2 月 1 日より施行する。